

これまでの検証会議の経過について

1 毎年度実施の検証

- ・前年度報告における「当会議からの提案」への仙台市及び仙台市教育委員会の対応状況
- ・前年度に実施した「いじめ防止等対策事業」についての全般的確認

2 各年度の検証

○令和元年度

平成 30 年度に実施した「いじめ防止等対策事業」の中から、「教職員の資質向上」「学校組織の対応力向上」「多職種間の連携」「仙台市及び教育委員会による支援」について検証及び検討を行った。

○令和2年度

平成 26 年と 28 年事案の第三者委員会答申における再発防止策の施策への反映状況を確認し、その対策として研修が多く取り上げられていたことから、「研修」をテーマとして検証及び検討を行った。

○令和3年度

- ・平成 29 年事案のいじめ問題専門委員会の答申における再発防止策の施策への反映状況を検証した。
- ・36 の「いじめ防止等対策事業」のうち、改善が必要であると思われる事業「いじめ対応等相談に係る教職員相談支援室の設置」「いじめ防止「きずな」サミットの開催」「いじめストップリーダー研修の実施」「いじめ・不登校対策推進協力校の指定」「命を大切に
する教育の推進」について検証及び検討を行うとともに、今後さらに期待する取組み「いじめ対策担当教諭」「いじめ事案対応における他の専門職との連携」「仙台市いじめ等相談支援室 S-KET」「いじめ防止の取組みに関する広報」について意見を述べた。

○令和4年度

- ・学校の考えを確認しながら議論を進めていくこととなり、「学校へのヒアリング」の手法を取り入れた検証を行った。
- ・ヒアリング結果を基に、各委員が検討・検証していくべきと考えた 5 点「仙台市いじめ実態把握調査について」「学級生活アンケート調査について」「教職員以外の専門職について」「いじめ対策担当教諭について」「情報モラル教育（ネットいじめの予防と家庭との連携）について」について議論を深め、「当会議からの提案」とした。